

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 宝塚健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>働きざかり世代への生活習慣病予防に向けた対策は喫緊の課題であるが、これらの世代は健康づくりのために時間を割く余裕がないことも多く、自治体等の啓発活動への参加率も低いことから食育の機会を得にくい世代である。</p> <p>管内では給食施設に該当する事業所が32施設あるが、うち利用者状況（肥満・やせ）の把握ができているのは12施設（約38%）、健康・栄養情報の提供は23施設（約72%）にとどまり、食環境整備に向けた取組みが不十分である。</p>
今年度の推進方策	<p>今年度は三田市内のモデル企業を対象とし、“食を通じた社員の健康づくり”をテーマに、働きざかり世代の食に関する実態調査と実践事業を実施し、企業主体の食を通じた健康づくりに取組む企業の増加を目標とする。また、食育関係機関・団体と企業等の働きざかり世代との連携強化を目指す。</p>
成果	<p>食環境整備の必要性を理解し、利用者の状況把握や健康づくりに前向きな企業は増えつつある。この事業を進めるなかで企業側より、講話などの参加者の偏りがみられるということで、より沢山の方に情報が行き届くようにする工夫などが行政・栄養士側から意見もでた。</p> <p>去年に引き続き食育関係機関・団体と企業等の働きざかり世代との連携強化を目指す。</p>
今後の方向性	<p>企業側からは事業評価や上司の理解、継続が難しく、活動を継続する事が難しいという声もあった。今後は活動を終えた後でも企業側が継続できるような活動も提案していきたい。</p>

2 会議の開催状況

実施日時	令和2年2月27日（金）14:00～15:30 ⇒感染症拡大防止のため中止
参集者 (団体数 及び人 数)	○株式会社ハイレックスコーポレーション ○栄養士会（2団体） ○金井重要工業株式会社不織布製造所 ○市栄養士（宝塚市・三田市） ○日立オートモティブシステムズ 阪神株式会社 ○株式会社モリタテクノ ○アリスオーヤマ株式会社
協議内容	○実践報告「令和元年度健やか食育プロジェクト事業 実践活動 ～社員食堂を通じた健康づくりの輪を広げよう～」 ○取組紹介「市・各市栄養士会の取組状況」 ○協議・意見交換「テーマ：さらなる食育の推進に向けて」 ※中止のため用紙にて情報収集。後日情報共有予定（回収中）
今後の 方策	今後も引き続き、事業所給食施設を中心に会議への参加を呼びかけ、参加企業数の増加に努める。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	社員食堂を通じた健康づくりの輪を広げよう		
対象及び参加者数	第1回 株式会社モリタテクノス 社員 31名 第2回 株式会社モリタテクノス 社員 90名 第3回 アリスオーヤマ株式会社 社員 200名程度 第4回 給食施設に該当する事業所32施設		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和元年 9月12日(木) 13:00~14:00 株式会社モリタテクノス 大会議室	○みそ汁の試飲 ○「お酒と減塩の話」	株式会社モリタテクノス 宝塚健康福祉事務所
	令和元年 10月3日(金) 12:00~13:00 株式会社モリタテクノス 食堂	○フードモデル展示 ○リーフレット配布 ○野菜の計量体験	株式会社モリタテクノス 宝塚健康福祉事務所 甲子園大学(実習生)
	令和元年10月~ 令和2年3月	○働きざかり世代の食に関する アンケート配布・回収中	アリスオーヤマ株式会社 三田市第二工場 宝塚健康福祉事務所
	令和2年3月	○ヘルシーレター配付	宝塚健康福祉事務所 各市事業所32施設
成果	<p>【成果】</p> <p>健康講話参加者は事前に希望制にしていたが、業務の都合上受けられない方が多かった様子。食堂での普及活動については、フードモデル展示や、糖分表示など視覚的に訴えるものが多く意識づけにつながった。野菜の重量あてをゲーム感覚で行い、参加者も楽しんでた。</p> <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者状況把握をしている施設数の増加 現状9→H29末11→H30末12→R1末12(※最終目標施設数17施設) ・健康・栄養情報の提供をしている施設数の増加 H30末23→R1末25 (※最終目標施設数31施設) 		
今後の課題	<p>今年度の事業は、健康福祉事務所(実習生含む)・事業所のみでの実施でした。今後は昨年度のように栄養士会等にも協力していただき実施していきたい。企業側が主体となりスムーズに事業を進めたい。各市健康部門、地域の栄養士会等との連携をはかり、その間のパイプ役として体制整備を行う。また、食を通じた健康づくりに消極的な企業も多いので、個別巡回や会議などを通して食環境整備の充実に努める。</p>		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

令和元年度健やか食育プロジェクト事業

社員食堂を通じた健康づくりの輪を広げよう

事業 背景

働きざかり世代への生活習慣病予防のに向けた対策は喫緊の課題。
一方で、これらの世代は健康づくりのために時間を割く余裕がない
ことも多く、自治体等の啓発活動への参加率も低いことから食育の
機会を得にくい世代である。

事業の ねらい

- 食を通じた健康づくりに取組む企業の増加
- 食育関係機関・団体と企業等の
働きざかり世代との連携強化

実践活動①

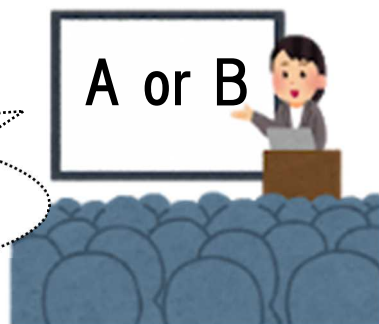
対象：三田市内モデル企業 M 社

日程：9月12日（木）13:00～14:00

内容：◆みそ汁の試飲

- ◆講話「お酒と減塩について」
- ◆アンケート

どちらが「美味しい」と感じたか、
塩分量の違うみそ汁(A.B)を用意し、試飲を行いました



講話後に実施したアンケートにて

現在の食生活に少し問題がある、問題が多いと選択した方に

具体的に何に問題があるか、複数の項目より選択していただいた。

集計結果より **実施活動②** の内容を検討した。

実践活動②

対象：三田市内モデル企業 M 社

日程：10月3日（金）12:00～13:00

内容：◆野菜の350g計量体験

- ◆飲料の糖分表示
- ◆フードモデル展示
- ◆リーフレットの配布



実践活動①より現在の食生活の問題点に「野菜が足りない」と回答している方が1番多かったため、野菜の計量体験を実施した。

飲料の糖分表示では、普段飲みそうな缶コーヒーやお酒についても表示した。

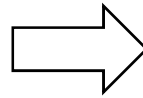
実践活動③

対象：三田市内モデル企業 A 社

日程：9月～令和2年1月

内容：働き世代に向けたアンケート実施

アンケートの結果より
来年度の事業内容を検討中…



働き盛り世代の食に関するアンケート調査

この調査は、働き盛り世代の食生活を調査し、健康づくりを支援するため、皆さんの食生活や食に関する課題を把握することを目的としています。この調査は無記名です。回答いただいた内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

- 性別 男性 女性
- 年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代～
- 身長・体重 cm kg
- 自身の適正体重を知っていますか？
 知っている 知らない
『知っている』と答えた方へ
適正体重を知りたい、または近づけようとしていますか？
 はい いいえ
- 現在の食生活をどのように感じますか？
 大変よい よい 少し問題がある 問題が多い
・『少し問題がある』『問題が多い』と回答された方へ（複数回答可）
具体的などのような問題があると感じますか？
 食べ過ぎ 栄養が足りない 食事のバランスが悪い
 野菜が足りない 間食が多い 外食をよく利用する
 人と比較して食べる速度が速い 水分の多いジュースをよく飲む その他（ ）
- 朝食は食べていますか？
 毎日食べている 時々食べている 食べていない
- 興味のある色・詳しく知りたい項目を3つ選択してください。
多かったものについては、今後詳細に情報提供させていただきます
 朝食と血糖値 高血圧と血糖値 自分の野菜と身体について
 バランスの良い食事 中食・外食の仕方 間食 自分の適性体重
 お酒について 栄養成分表示の見方 生活習慣病予防
 その他（ ）

ご協力ありがとうございました。【宮城県健康福祉事務所（宮城県庁）】

実践活動④

対象：給食施設に該当する事業所 32 施設

日程：令和2年3月

内容：ヘルシーレター配布

健やか食育プロジェクト会議

令和2年2月27日を予定しておりました会議は、感染症拡大防止のため中止となりました。⇒ 紙面での情報共有に切り替えました。